|  |  |
| --- | --- |
| **２**  （月） | のような |
|  | **創39章1～6節**　はヨセフのにをせ、がべるのことは、もをわなかった。しかもヨセフはもく、だちもしかった。(6) |
|  | は、ののにRemnantをばれました。まずに、がくださったをることによって、のにやぐらをればいのです。のをたRemnantは、をしたでしょうか。  １つ、ヨセフはとともにいました。ファラオのをきかしたときも、がらせてくださるといました。そのとき、インマヌエルのえをけました。ポティファルのにとしてったことも、くやしいにあったことも、そのことがの、のになりました。これがワンネスのえです。２つ、モーセは「わたしのをれてのいけにえをげにきなさい」とわれたのみことばをしました。のいけにえをげた、すべてのがわってイスラエルはエジプトしました。モーセはとのがでした。そして、いと、ののがっているつのりがでした。３つ、のがりつようにけたがいます。ヨセフのをにとどめたヤコブ、モーセにをえてとしたイテロ、ヨシュアとカレブがカナンのにれるようにけたラハブです。そのは、がなのであることをかったのでした。  りのやぐらのでのをのにみましょう。 |
|  | 、のので、がばれたをることができますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2023.12.05.中南米伝道集会(パナマ) 1講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **３**  （火） |  |
|  | **ロマ16章25～27節**　の、すなわち、イエス・キリストをえるによって、また、にわたってされていたのによって──ののにしたがい、たちのをしてやらかにされ、すべてのにのをもたらすためにらされたのによって、あなたがたをくすることができる、(25-26) |
|  | Remnantはがえてくださったをってりましょう。すると、のにののきとがやぐらとしてちます。このりがになれば\*になり、をえるがれます。このをったバビロンのRemnantに、どんなことがこったでしょうか。  １つ、がえてくださったがしました。はイザヤにいのメッセージ「インマヌエル」のをえ、されました。イザヤをじてえられたバビロンにけたは、すべてしました。２つ、バビロンでをされたはです。イザヤをしてられたによってダニエルはをめました。(ダニ1:8-9)このとき、ダニエルはのにれられてもなずにきて、のきておられることをするになりました。エステルはユダヤがすべてされることになったとき、がをにるようにされたをって、ユダヤをかしました。これがほかのにもになりました。３つ、\*がきました。ダビデはをてました。このようにをてることがRemnantのでです。  Remnantはりのやぐらをてるをしましょう。 |
|  | 、りのやぐらをてて、からのをけて、のをますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2023.12.06.中南米伝道集会(パナマ) 2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **４**  （水） | やぐら |
|  | **ロマ16章25～27節**　の、すなわち、イエス・キリストをえるによって、また、にわたってされていたのによって──ののにしたがい、たちのをしてやらかにされ、すべてのにのをもたらすためにらされたのによって、あなたがたをくすることができる、(25-26) |
|  | はによってんでいて、がえています。それゆえ、Remnantはをやして、やぐらをしましょう。がえてくださったなをって、やぐらをのににてればいのです。パウロは、なるをしたのでなく、やぐらをてました。やぐらは４つになるようにてればいのです。  １つ、りのとなるようにてましょう。りのは、キリストがなければぬというキリストの\*と、りのをしてちます。そして、ののをってえます。２つ、るとなるようにてましょう。70にイスラエルがびたのですが、そのでをってるがいました。るはがです。３つ、れるとなるようにてましょう。れるはのにあったの\*のでも、にとをしたのことをいます。４つ、すとなるようにてましょう。これからはにがいっぱいになるがます。これをするを、すといます。  Remnantはににりのやぐらをてましょう。すると、のでやぐらとしてりの、る、れる、すをててくことができるでしょう。  \*：そのようにしたり、そうならなければならないことをします。  \*：のくのがしたののことです。 |
|  | 、やぐらをてるRemnantとしてりめますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2023.12.06.中南米伝道集会(パナマ) 3講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **５**  （木） | すべてのはキリストがです |
|  | **ロマ3章23節**　すべてのはをして、のをけることができず、 |
|  | すべてのがをしてのをけることができなくなりました。ですから、のにははもいません。そのため、すべてのとすべてのにはキリストがです。Remnantはこのキリストをってえましょう。  １つ、Remnantは、だれもらないをっています。イスラエルのは、、、になったのですが、そのをりませんでした。しかし、Remnantは、ただのえをって、ほかのにらされたをっていました。それゆえ、をえることができたのです。２つ、Remnantは、だれもえてくれないをるためです。ののは、のりもなく、もからないのろいのできています。をれたのゆえです。このにのろいのできるしかないとえをえてあげましょう。３つ、パウロはののをっていました。そして、たちのはのでなく、にあることもっていました。それゆえ、ににをえることができました。ののは、らないのでうことはできないのです。  はただによってだけめることができます。このをって、のろいのにいるに、のえをえるえをけましょう。 |
|  | 、のをって、をにえるえをけますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.04.14.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **６**  （金） | Remnantがあらかじめた |
|  | **使19章1～21節**　これらのことがあった、パウロはにされ、マケドニアとアカイアをってエルサレムにくことにした。そして、「はそこにってから、ローマもなければならない」とった。(21) |
|  | ヨセフはいからにてくるほどのをっていました。これが、Remnantがあらかじめたです。Remnantは、のためにすることがつあります。  １つ、いに\*やぐらをにりましょう。くきて、サミットりをわいましょう。には、のがになるいりをしましょう。には、すべてをけれて\*するりをしましょう。２つ、のにてくに、にけるえがあります。Remnantは、のをかすと、わざわいのをかすビジョンとをあらかじめってきましょう。すると、のかたちをわって、がわれるをることができます。\*のやぐらと、しるべをわうサミットにになって、のにてきましょう。３つ、サミットのをしましょう。Remnantは、ずえをけるので、るサミットタイムをちましょう。そして、のにあるのをするサミットをえましょう。ちにえがなくて、くないのにいるとしても、それにてばきなサミットのになります。  RemnantはのRemnantがあらかじめたをえて、のをきましょう。  \*やぐら-りをするためにてたいのことです  \*-どんなやなことがあっても、びえることをいます。  \*-がる、すなわち、にえないようにをめておられるのをします。 |
|  | 、のをってるサミットとしてちますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.04.20.レムナント伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **７**  （土） | がしくるべき |
|  | **使1章8節**　しかし、があなたがたのにむとき、あなたがたはをけます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの、さらにのてまで、わたしのとなります。 |
|  | りをっているが\*ワンネスになるとき、のがれめます。のがまってったとき、ローマとがわりました。そのはだったのでしょうか。  １つ、システムをえていました。そのは、キリストからえられた(7・7・7)をってにまりました。と、にのをわうりにしました。すると、どんなもできるようになります。これがのやぐらでシステムです。２つ、システムがえられていれば、まるときにワンネスがこります。にどもたちとがかされる、がかされるやしのがしげられます。えをけたがににまって、ワンネスをしげます。そして、237かと5をやしてサミットとなるようにするがワンネスをしげます。３つ、がしげられるをっていました。このは、にわたってされていたのが、やらかにされて、とこしえまであることをわうワンネスをしげました。それゆえ、されるしかありませんでした。  Remnantもがけたのえをけましょう。まずののがむようにりにしましょう。  \*ワンネス(Oneness) -がにまってつのをつことをいます。おたがいにをわせて、のにかってむことです。  \*-、または、というをっているこのは、やなどにいっしょにわれました。 |
|  | 、にだまされないで、がえてくださるみことばってをしますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.04.20.核心訓練 |